

令和7年7月1日

魚津市松倉コミュニティセンター整備事業・施設設計業務  
公募型プロポーザルの審査結果について

魚津市では、松倉地区の地域活動拠点として、また、松倉城跡等の歴史的資産と伝統文化を育み、その魅力を発信できる歴史と文化の顕彰拠点として、さらに、災害時においては地域住民の安心・安全を守るための地域防災拠点となることを目指して、松倉コミュニティセンターを移転・新築します。

この施設の設計業務を委託する事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施し、審査委員会において審査を行った結果、下記のとおり決定しました。

記

1. 業務名 魚津市松倉コミュニティセンター整備事業・施設設計業務

2. 審査方法と審査日

審査委員会による二段階審査方式

- ・第一段階審査 提出書類審査 令和7年6月16日
- ・第二段階審査 技術提案書に基づくヒアリング形式 令和7年6月26日

3. 参加事業者数

- ・第一段階審査対象者 9者
- ・第二段階審査ヒアリング参加者 5者

4. 審査結果

| 区分    | 事業者名           | 評価点数（100点満点）<br>（7審査委員の平均点） |
|-------|----------------|-----------------------------|
| 委託候補者 | 株式会社 押田建築設計事務所 | 78.1点                       |

5. 審査委員会委員（五十音順、敬称略）

朝野 日出夫 （学識経験者）  
石黒 雄一 （行政関係者）  
柏原 友美 （学識経験者）  
木下 正博 （地域関係者）  
谷口 浩 （地域関係者）  
谷口 真知子 （地域関係者）

※第一段階審査のみ。第二段階審査は、左近 悦恵（地域関係者）が代理で審査  
中島 道長 （学識経験者）

## 6. 審査講評

- ・各社とも、周辺施設との連携性、土地の利活用、地域のシンボルとなる外観等に工夫が見られた。
- ・地域の中心的な施設となることや、松倉の歴史顕彰拠点として、創意工夫が見られ、各提案において、それぞれ長所・短所があり、優劣の判断が難しく感じた。全体的に提案内容が充実しており、レベルが高い印象があった。
- ・最高評価の提案については、課題について全体的によく考慮されており、施設の配置や、シンプルな構造、利用者が使いやすいような点や、維持管理においても無理がなく、公共施設として適切であるという印象が強かった。

以上、審査講評とする。

なお、設計業務にあたっては、市当局と地元関係者が十分に検討・協議の上進めてもらいたい。また、近年、物価高騰が続いているが、建築費の抑制にも配慮願いたい。

(事務担当) 魚津市役所 総務部 地域協働課